

ポリタンク 固定式灯油ポンプ マグネットで強力固定



ご使用方法はこちら

特許登録済
マグネットホルダー
カチッと固定

※写真はイメージです。
※カートリッジタンク及びポリタンクは商品に含まれていません。



特許登録済
簡単装着マグネットホルダー

ベランダコンテナに収納可能!
(高さ内寸:413mm以上)

灯油缶口外径50mm専用

JIS規格または 推奨・認定 ラベル付き
単三形アルカリ乾電池専用 4本使用 (別売り)



MG-SW20

【使用前の注意】
取扱説明書(表面・裏面)を必ずお読みの上、正しくご使用ください。

必ずお守りください

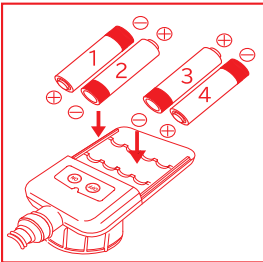
お客様がこの「取扱説明書」に記載されている内容をお守りにならず受けた損害及び故障、その他の不具合について、当社は一切の責任をおいませんので予めご了承ください。

1. 灯油缶について

- 必ず JIS 規格または推奨・認定ラベル付きの灯油缶をご使用ください。
- 灯油缶給油口が65mmの場合、別売りのアダプターキャップをお買い求めください。

2. 乾電池について

- 必ず新しいアルカリ乾電池をご使用ください。
- 使用推奨期限を確認いただき、使用推奨期限が十分あるものをご使用ください。
- マンガン乾電池はご使用にならないでください。
- 二次電池(充電式電池)はご使用にならないでください。
- 乾電池は気温の低い場所ではパワーが低下し、使用できなくなることがあります。
- 低温(5℃未満)の状態では乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性能を充分に発揮できず動かない場合があります。
- ※乾電池の保管は10℃～25℃が適切とされています。
直射日光、高温多湿を避け保管してください。
- 応急的に乾電池2本でも作動しますが、必ず4本でご使用ください。
- ※乾電池は右図の1、2又は3、4の組合せで作動します。
- ※電池が弱いと作動しない場合があります。
- 子供のいたずら防止等、誤作動防止のため一時的に乾電池を取り外しておく場合は、右図の2、3の乾電池を取り外してください。



3. 給油について

- 給油は必ず火の気のない場所で行い、給油中は絶対にポンプの側を離れないでください。
- 給油中に吐出ホースなどに触れたり、衝撃を与えるとカートリッジタンクなどから感知ホルダーが外れる恐れがあります。
- 室内など、汚れては困る場所では使用しないでください。
屋外など、灯油がこぼれても良い場所でご使用ください。
- ※誤作動により再始動したり、カートリッジタンクなどから感知ホルダーが外れた場合、灯油がこぼれ、タタミや床面、カーペット、車内などを汚す恐れがあります。
- ポンプは上下逆さま(電池ケースを下向き)にしないでください。
ポンプに残った灯油が漏れる恐れがあります。
- このポンプは、防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからない場所でご使用(給油)及び保管をしてください。
- ※誤作動により再始動したり、自動停止しないなど、故障の原因となります。
- このポンプは密閉構造ではありませんのでポンプを灯油缶に取り付けたまま灯油缶を倒さないでください。
- ※灯油が漏れます。
- このポンプは密閉構造ではありませんので灯油缶を持ち運びされる際は、必ずポンプを取り外してください。
- ※灯油が漏れる恐れがあります。

警告 注意

強力なマグネット(磁石)を使用しています。

- ペースメーカーなど、医療機器を植え込むなど、治療をされている方は、このポンプのご使用をお控えください。
- 電子医療機器の近くでのご使用、保管は機器に影響を与える恐れがあります。
- 電子記録媒体(フロッピーディスク、MO、磁気テープ、磁気カード、プリペイドカード、切符、MD)などに近づけると記録が破壊される、または磁化されて使用できなくなることがあります。
- 各種電子機器、映像機器、通信機器(CD/DVDプレーヤー、時計、携帯電話など)に近づけないでください。
- 正常動作が妨げられたり、故障の原因になることがあります。

保管のしかた

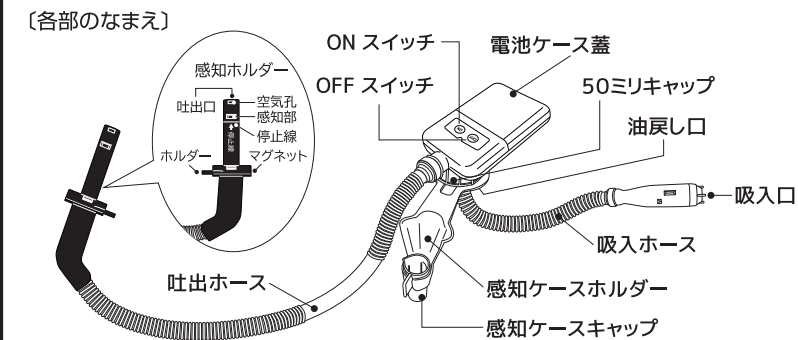
- このポンプは、防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからない場所で保管してください。
- ※誤作動により再始動したり、自動停止しないなど、故障の原因となります。
- 長期間(2週間以上)ご使用にならない時は、灯油缶からポンプを取り外し、必ず乾電池を取り外し、ポンプに残った灯油をよくきり、乾いた布などでぬぐい、ビニール袋などに入れ、雨や雪、夜露など水に濡れる恐れのあるところ、直射日光を避け、子供の手の届かないところで保管してください。
- ※ポンプが劣化し、吐出ホースが割れたり穴があく原因となります。

故障かな?と思ったとき

こんなときは	原因・調べるところ	直しかた
スイッチを入れても作動しない!	電池の入れ間違い	電池を正しく入れる
	購入後の長期保管やしばらく使用していない場合でスイッチを入れても作動しない時は右図のように吸入口内の白い糸を棒などで回し、再度スイッチを入れ、作動するか確認してください	
・吸い上げる力が弱い!	・マンガン乾電池を使用している ・乾電池が消耗している ・乾電池の使用推奨期限 ・⊕⊖端子がサビている	・使用推奨期限が十分残っている新しいアルカリ乾電池に取り替える ・端子のサビを落とす
・ポンプ(モーター)が作動しているのに吸い上げない!	給油側タンクが高い位置にある	灯油缶の横に置く
	スイッチの「OFF」を押し、停止させた後スイッチの「ON」を押し再始動させてください	
給油タンクがへこむ!	もう一方のキャップをゆるめてください	

仕 様			
形 式	MG-SW20	ポンプ駆動方式	ダイレクト・ドライブ方式
主 材 料	ABS樹脂・ポリアセタール・ポリエチレン	電子回路素子	トランジスター
		セ ン サ ー	赤外線フォトカプラー
流 量	7.0ℓ/分 (JIS S 2037 流量試験方法による)	使用 温 度	-5℃～+45℃
		使用 液 体	灯油(JIS1号灯油)
使用 乾 電 池	単三形アルカリ乾電池×4本		

ポリタンク 固定式灯油ポンプ MG-SW20 取扱説明書 要保管



準備 1 乾電池の入れ方

- ①[図1]のように電池ケース蓋を矢印方向にスライドさせて取り外してください。
- ②[図2]のように電池ケース内の刻印に合わせ、⊕ ⊖を確認し単三乾電池を正しく入れてください。
- ③電池ケース蓋を元の通りしっかりと閉めてください。

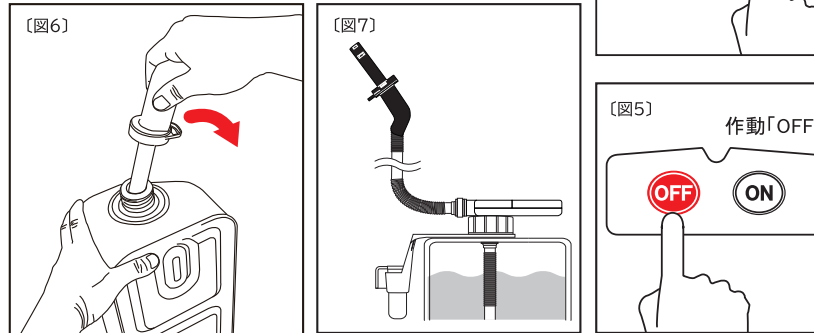
■乾電池の液漏れ、その他の事故を防ぐため次のことをお守りください。

1. 単三アルカリ乾電池4本でご使用ください。
※ 乾電池2本でも作動しますが、必ず4本でご使用ください。
ポンプを灯油缶に取り付けたまま乾電池交換をされる際は、スイッチに触れないようご注意ください。
2. 乾電池は必ず新しいものを使用してください。
3. 乾電池を取り替える時は、一度に4本とも取り替えてください。
4. 乾電池は4本とも同じ銘柄のものを使用してください。
5. 乾電池を入れる際、⊕ ⊖ を間違えないように注意してください。※液漏れや破裂の原因となります。
6. 長期間(2週間以上)使用しない時は、必ず乾電池を取り外してください。

注意

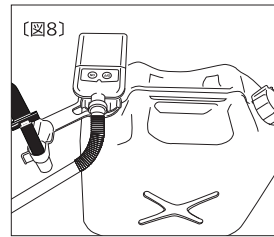
準備 2 操作方法について

- ①[図3]のように灯油缶に感知ケースホルダーをセットし、吸入ホースを灯油缶に入れ、50 mmキャップをしっかりと締めてポンプを固定してください。
- ※灯油缶に取り付ける際は、必ず乾電池を取り外してください。
- ②感知ホルダーをカートリッジタンクの給油口に差し込んでください。
- ※感知ホルダーがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ③[図4]のように「ON」スイッチを押すと給油を開始します。
- ④停止線まで給油すると自動的に停止します。
- ※途中で停止する場合は、[図5]のように「OFF」スイッチを押してください。
- ⑤手動・自動停止後は、必ずポンプが停止していることを確認しカートリッジタンクが倒れないように手で支えながら、[図6]のように感知ホルダーを少し手前に倒し、しずく垂れに注意しながら引き上げ、[図7]のように感知ホルダーを持ち上げ、吐出ホース内に残った灯油を灯油缶に戻したあと、感知ホルダーを感知ケースキャップに差し込み保管してください。



このたびは、給油ポンプ MG-SW20 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

※灯油缶によってはポンプが灯油缶の持ち手部分に当たり、しっかりと固定できずポンプの吸入ホース付根部分にある「油戻口」からの灯油が伝ってキャップと灯油缶の間から灯油が漏れる場合がありますので必ずポンプを[図8]のように灯油缶の持ち手と垂直になるようにポンプを固定してください。



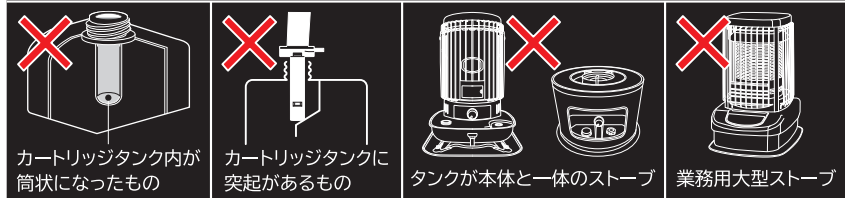
警告

- このポンプは『灯油専用』です。
ガソリン・シンナー・アルコールなど、揮発性の高い液体、酸、アルカリなどの腐食性の高い液体、水は絶対に使用しないでください。
※火災や故障の原因になります。
- ポンプの分解や改造は絶対にしないでください。
※故障や異常動作を起こす原因となります。
- 自動停止せず灯油があふれた場合、「OFF」スイッチを押し、灯油缶よりポンプを取り外してください。
- 古い灯油は使用しないでください。
- お子様だけの給油は絶対にさせないでください。

使用上のお願い

- ①給油は、必ず火の気のない安定した場所で行ってください。
- ②給油中はポンプの側を絶対に離れないでください。
※灯油があふれた場合、火災の原因となります。
- ③吐出ホース・吸入ホースを強く曲げたり、他のものと擦り合わせないでください。
- ※亀裂や穴があき、灯油漏れの原因となります。灯油が漏れた場合は使用しないでください。
- ④ポンプを落下させたり、強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- ⑤ポンプの上に、ものを乗せないでください。破損や故障の原因となります。
- ※誤って「ON」スイッチに触れてポンプが作動する恐れがあります。
- ⑥ポンプを取り付けた灯油缶を倒さないでください。
※密閉構造ではありませんので灯油が漏れます。
- ⑦カートリッジタンクなどの給油口内径 22 mm以下のもの、灯油缶の吸入側口内径 33 mm以下のものにはご使用になれません。
- ⑧50 mmキャップ内側の本体付け根部分に油戻し口があり灯油が出ますが、故障ではありません。
- ⑨センサーが汚れたり、傷がついたり異物が付着した場合、自動停止せずあふれる原因となります。
- ⑩このポンプは防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからないようにしてください。※誤作動により再始動したり、自動停止しないなど、故障の原因となります。
- ⑪通常のご使用にもかかわらず動かなくなったり異常がある場合は、事故防止の為、使用を中止し乾電池を取り外していただき、下記の＜この商品に関するお問い合わせ先＞までご連絡ください。

ご使用になれないもの



※カートリッジタンクの機種によってはご使用になれないものがあります。

お客様がこの「取扱説明書」に記載されている内容をお守りにならず受けた損害及び故障、その他の不具合について、当社は一切の責任をおいませんので予めご了承ください。
※機能向上のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。